

デバッガ gdb (macではlldb)

通常のコンパイル： source.c から実行形式 execを作る

```
gcc -o exec source.c // この時 -oの直後はgccの書き出す実行形式file名なのでここにsource.c
// と書くとソースファイル sources.c が消えてしまいます!!
```

gdb を使いたい場合には -g オプションを付けてコンパイル

```
gcc -g -o exec sources.c
```

このプログラムが アーギュメントを 2 つ取って exec arg1 arg2 と実行するものである場合

```
gdb exec
```

として、gdbに入り

```
run arg1 arg2
```

とrun の後にアーギュメントリストを並べる

プログラムが停止した場所で、bt とすると、その行番号が表示される

また、print 変数名でその変数の終了時の値が表示される print n_line -> 3